

地域特産魚介類の販売促進と担い手育成 (県単 , 地域振興推進事業)

南薩地域振興局 林務水産課

【背景・目的】

南さつま市には5漁協(加世田漁協,笠沙町漁協,南さつま漁協,久志漁協,坊泊漁協)があり,定置網,バッチ網,養殖等の漁業が盛んで,ブリ,アジ,サバ等,豊富な種類の魚介類が漁獲される他,クロマグロの養殖も行われている。

しかし,近年の燃油価格の高騰,魚価の低迷により,漁業経営は非常に厳しい状況にある。

南さつま市内5漁協(加世田漁協,笠沙町漁協,南さつま漁協,久志漁協,坊泊漁協)が協力,連携して,地域特産魚介類の直接販売や地元の水揚げされる魚介類の地域内外へのPRに努め,販売促進と魚価の向上を図る必要がある。

【普及内容・特徴】

5漁協で構成される南さつま市漁業振興連絡協議会が事業実施主体となって,平成21年度から地域振興推進事業として,観光客を対象とした漁業体験の実施,即売会の開催,魚調理教室の開催及び加工品の開発等に取り組んでいる。

これらには,関係漁協役職員,漁業士等の地域水産業の担い手が主体となって取り組んでおり,生産者直売の体験を通じて,担い手が自らの経営改善を学ぶ場となっている。

【成果・活用】

(1) 漁業体験の実施

バス・ツアー客を対象に,定置網の体験と漁獲物の販売を2回行った。

(2) 即売会の開催

漁協土曜昼市の開催
笠沙町漁協で毎月末土曜日の正午前に即売会を実施するとともに,地元産魚介類を用いた昼食を提供した。
農業祭への出店,販売
南さつま市農業祭に出店し,タカエビ,ちりめん加工品等を販売,PRした。
県域イベントへの参加,販売
半島隅くじら元気市に参加,タカエビ,ちりめん加工品等を販売,PRした。

(3) 魚調理教室の開催

南さつま市立益山小学校児童とその保護者を対象に,市場見学と魚調理実習を行った。

(4) 加工品の開発

昨年度に同事業で開発された「しらす丼の素」を改良した新規加工品「ちりめん丼の素・ハーフ」が新たに開発された。

【その他】

事業実施2年目を迎え,漁協役職員,漁業士等が連携し,地域内外に対して,漁業に対する理解と地域特産魚介類のPR,販売促進が図られた。

23年度においても,これまで同様の取組の他,地域特産魚介類等の販売パンフレットを作成し,更なるPRと販売促進,魚価向上に努める必要がある。

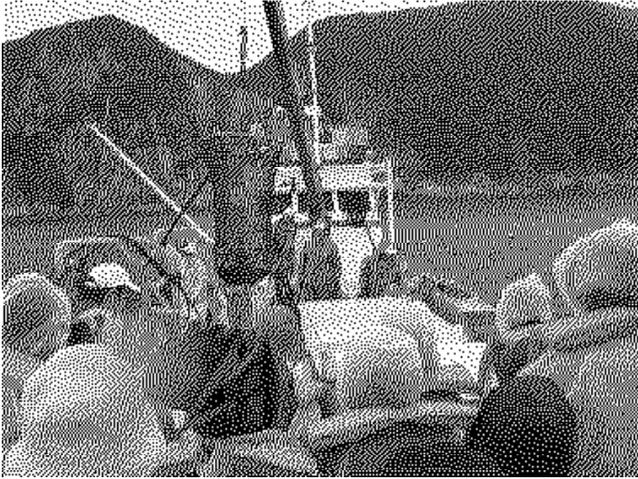


写真 1 漁業体験



写真 2 土曜昼市



写真 3 農業祭



写真 4 半島隅くじら元気市

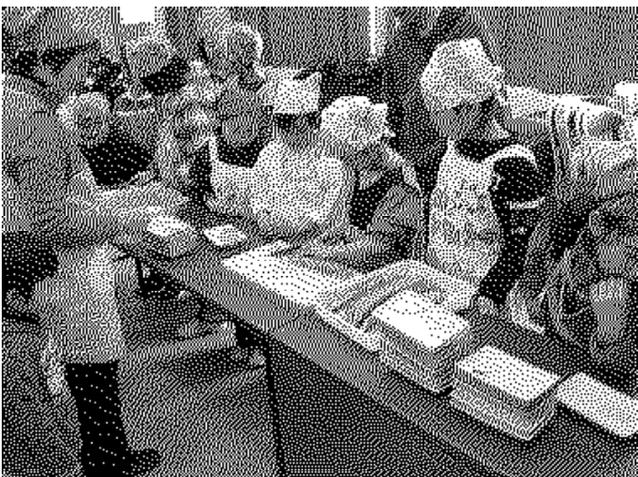


写真 5 魚調理教室



写真 6 「ちりめん井の素・ HALF」